

# 新規事業創出の取り組み

## 生物遺伝資源(主に植物遺伝資源)ビジネス

当社は、2015年度より、研究開発から事業化を目指し、「生物遺伝資源ビジネス」に取り組んできました。中期経営計画において挑戦事業と位置付け、最先端レベルのラボの完成とともに、研究開発と事業推進の二体制の組織強化、「ABS市場創成タスクフォース」など社外の専門家との協力体制やバイオセーフ

ティ委員会の設置など、事業化推進に欠かせない体制を整備しました。また、2023年度には、遺伝資源提供国(以下、提供国)の権利を保護しつつ、資源提供によって得られた利益を公正かつ衡平に配分することで、提供国が抱える社会課題の解決につながることを企図した新サービスも開始しました。

### 遺伝資源とは

遺伝資源とは、遺伝の機能的な単位を有する植物、動物、微生物、その他に由来する素材のうち、現実のまたは潜在的な価値を有するものを指します\*。外国に由来する遺伝資源を研究の目的で使用する場合、遺伝資源の利用から生ずる利益を公正かつ衡平に分配するため、ABS(Access and Benefit Sharing)に関する手続きが必要になり、提供国の法令に従わない取得や使用は研究者、さらには日本の科学全体にとって重大なリスクとなり得ます。しかしABSに関する手続きには課題が多く、遺伝資源の利活用に向けた研究において大きな障壁となっています。

\* 生物多様性条約における定義を参照

## Topics

### 世界に眠る「植物遺伝資源」で広がる未来「ぶらんつプロ」

2024年3月、海外(アルゼンチンとインドネシア)の提供国との複雑な手続きを経ることなく、お客さま(企業や公的機関など)に提供するサービス「ぶらんつプロ」を開始しました。「ぶらんつプロ」とは、当社と契約したお客さまに対し、アルゼンチンとインドネシアに所在する遺伝資源のサンプルを提供するサービスです。お客さまは、提供国との複雑な手続きを行うことなく同サンプルを入手することができ、お客さまの事業に必要な基礎研究や製品開発にご利用いただけます。

▶ 「ぶらんつプロ」の紹介動画をYouTubeに公開しています。  
<https://www.youtube.com/watch?v=MGzS0E4g0qo>



### 新たな多変量解析法「HIGOMARI™」を用いた受託解析サービス

あらゆるデータの特徴を取り出し、異種データであっても関係性のあるデータをマッチングできる、当社独自の多変量解析法「HIGOMARI™」を開発しました(特許出願中)。さまざまな事象に関し、探索や評価、複数の分析によって得られた膨大な情報の中から有望な候補を選定するため、情報の要約や分類、予測の方法論として活用していただくことができます。

本解析法を用いた受託解析サービスは、2025年1月より開始します。



▶ 「HIGOMARI™」の紹介動画をYouTubeに公開しています。  
<https://www.youtube.com/watch?v=vIjHly-tXXo>



当社は、経団連生物多様性宣言イニシアチブに参画しています。

